



校内研便り

昭和小
NO1
R2. 6. 4
研究主任

今年度の研究テーマ

自ら進んで考え、ともに学び、表現し合う子どもの育成
～みんなで学び合い、表現力の向上を図る国語科の授業づくり～



今年度の、校内研修は上記の研究テーマを共有することからスタートし、「研究テーマに向けて『単元を通してつきたい力を明確にした授業づくり』『言語活動や表現活動の充実を図る取り組み』を進めることで、学力向上につながるのではないか。」と仮説を立てて進めています。

研究授業スタート

5月27日(水)には、高知大学教育学部附属小学校から田中元康先生を講師にお迎えして、第1回目の研究授業(第2学年「サツマイモのそだて方」)をしました。

単元名 サツマイモのそだて方名人になろう！
教材名 サツマイモのそだて方 本時1 / 12
研究授業 2年
重点指導事項：文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。

＜授業者より＞成果◎と課題●

- ◎子ども達一人一人が、自分の意見を表現することができた。
- 「くらべる」ということをもっと焦点化させたらよかった。
- 思考させる場の設定と手立てをどうするか。



◎研究協議より

- ・第一次では、見通しを持たせることが大事。単元のゴールに関することを取り上げる。
- ・本時では、二つのことを比べるという観点を示す必要があるのではないか。
- ・思考錯誤し、子どもが活動している授業をつくっていく。

田中先生には、研修終了後にこれからの校内研修の在り方についてもお話を聞かせていただくことが出来ました。早速、取り入れて実践していきたいと思います。

***事前研では、単元のゴールの具体像が共有できるようにする。**

次回からの実践→授業者から、提案してもらうようにする。

***事後研では、視点多すぎるので2点ぐらいに絞ってもよいのでは？**

次回からの実践→思考させる場面と手立てがあったか。(メインの視点とする。)



研究授業後には、先生方一人一人が自分の課題を設定し、授業改善に向けて取り組んでいるところです。個人の取り組みだけでなく、学校全体の取り組みも進めていきたいと思っています。

◎これから学校全体として取り組む具体的内容

- ①授業の中で「書く」場を設定する。
- ②ノートに自分の考えを残す。
- ③ふりかえりを書く。

上記の取り組みは、ノート検証や学期末のアンケートで検証していきたいと思っています。

すみれ学級の研究授業については、次号でお知らせします。
6月は研究授業が続きますので、みんなで研究を深めていきましょう。